**第５号議案**

**令和5年度三輪地区住民自治協議会事業計画**

　　令和2年に新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が続き、当自治協事業については令和3年度に引き続き令和4年度も中止せざるを得ない事態が続きました。国の行動制限の緩和政策を受けて当自治協では、感染対策の徹底を図った中で極力事業を行なうことと致しました。

　当自治協においては、設立から10年を経過した中で自治協事業のあり方やそれを担う組織上の課題、問題点が顕在化してきたことから一昨年に「自治協組織改革検討委員会」を立ち上げ、「第三次三輪地区地域福祉活動計画」に掲げた基本目標である「支え合い、助け合い、つながっている福祉の町三輪」と「未来を担う子どもたちの夢を育む文教地区三輪」の実現の為に。現行組織の抜本的な見直しと部会再編等の改革案の検討に着手しました。当委員会では8回の開催による議論を経て最終結論には至らなかったものの自治協組織の中に自治協の戦略的司令塔として「まちづくり企画推進委員会」を組織に位置付け、「自治協組織改革検討委員会」での議論を引継ぎ昨年度6回の開催をもって現行組織の抜本的な見直しと部会再編等の改革案を作成致しました。

　令和5年度についてもコロナ禍影響が残ると思われますが、「第三次三輪地区地域福祉活動計画」に掲げた基本目標の達成に努めてまいりたいと考えております。

**≪事業計画≫**

令和4年度まで各部会に属さない事業は「全体事業」と位置付けしてきた。今年度からは関連性の高い部会に括りつけることとする。必ずしもその部会だけが担当するのではなく実施担当を決め協力体制をつくり遂行する。

**（１）まちづくり企画推進委員会**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名  **第三次三輪地区地域福祉活動計画の推進** | |
| 事業の目的 | 第三次三輪地区地域福祉活動計画の実践と推進により、安心して暮らせる住みよいまちづくりを目指す。 |
| 事業の内容 | ・4年度までの評価・総括と後半に向けての見直しを行ったうえで、「第三次三輪地区地域福祉活動計画推進委員会」を中心に、全部会一体となり実践と推進を図る。 |
| 事業名  **自治協の司令塔として、企画・調整** | |
| 事業の目的 | 自治協全体を俯瞰し、“自治協の司令塔”として、企画・調整し理事会に諮問する。 |
| 事業の内容 | ・中期的な三輪地域のあり方の検討  ・ニーズに応じた新たな事業の企画調整  ・各部会の総合調整自治協組織の見直しが効果を挙げているかの検証 |
| 事業名  **自治協組織の見直し見直後の検証** | |
| 事業の目的 | 今年度実施した自治協組織の見直し後の検証を行い、必要があれば再検討する。 |
| 事業の内容 | 自治協組織の見直しが効果を挙げているか検証する。 |
|  | |

**（２）区長部会**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業名  **必須事務・選択事務等の処理** | | |
| 事業の目的 | 長野市と三輪地区住民自治協議会が締結した「協働に関する基本協定書」に基づき、区長の担当する必須事務及び選択事務等を適切に処理する。 | |
| 事業の内容 | 長野市からの依頼事務を履行する。 | |
| 事業名　　　　  **総務（区長）部会研修** | | |
| 事業の目的 | 自治協の事業を推進させる為に、参考になる実践例を検証し、自治協の事業に反映させていく。 | |
| 事業の内容 | 住みよい街づくりのための実践例がある地域を視察・研修して、区長の業務に反映させていく。 | |
| 事業名  **地域福祉懇談会の開催** | | |
| 事業の目的 | 各区ごとに問題点や課題について検討し、問題解決に向けた取り組みをするとともに、認識の共有化を図る。 | |
| 事業の内容 | １　各区の実情に合わせた、地域福祉懇談会を開催する。  ２　地域福祉懇談会を通して、介護予防・生活支援体制等を効果的に進めるための意見交  換・対策の検討を行っていく。 | |
| 事業名  **三輪地区自主防災組織連絡会の開催** | | |
| 事業の目的 | | 三輪地区の自主防災組織相互の情報交換を密にし、各区の自主防災会の充実強化を図るとともに、災害発生時における行政との相互連絡が、迅速かつ正確に行える体制の構築を図る。 |
| 事業の内容 | | １　各自主防災会相互の情報交換を行う。  ２　防災訓練と防災にかかわる各種研修会を行う。  ３　防災ネットワークの充実と拡大を行う。 |
| 事業名  **防災対策推進事業** | | |
| 事業の目的 | | 各区自主防災会は、それぞれの地域状況に対応した防災対策を行う。 |
| 事業の内容 | | １　各自主防災会は、自主防災訓練及び防災知識の普及・啓発に係る研修会等を計画実施する。  ２　各自主防災会は、災害時に要支援者の安否確認及び救援活動が迅速かつ的確に行える組織づくりを図る。  ３　各自主防災会は、防災備蓄物品の充実に努める。 |
| 事業名  **地域間交流** | | |
| 事業の目的 | | 中山間地自治協との交流を通じて、相互の活性化と住民同士の親睦を図る。 |
| 事業の内容 | | 小田切地区自治協および中条地区自治協と次の交流を行う。  【小田切地区】  １　 5月　13日（土） 小田切地区で開催　わらび狩り  ２　 6月　25日（日） 親善スマイルボウリング大会  ２　10月　15日（日） 三輪地区で開催　 「ひまわり広場」に野菜売り場の出店  【中条地区】  １　 6月　 2日（金） 中条地区で開催　竹林間伐及び竹の子狩り  ２　10月　18日（水） 中条地区で開催　竹林伐採 |

**（２）－１　広報委員会**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名  **広報活動** | |
| 事業の目的 | １　三輪自治協の情報発信力を強化し、住民が参加しやすい広報をする。  ２　積極的な広報活動を通して、住民の声が自治協に届くようにし、自治協の活動をより住民の生活に密着したものに近づけるようにする。  ３　三輪地区住民へ広報誌（自治協だより）を通して自治協全体の動きや方向性を伝えるともに、４部会の事業の推進を住民と共有していく。 |
| 事業の内容 | １　自治協だよりを年４回発行する。  　　（発行月：６月・９月・１１月・２月）  ２　広報活動は、「自治協だより」「ホームページ・フェイスブック」・「自治協協賛賞」  を活用して行う。  ３　三輪地区住民自治協議会の認知度を高めるため、各区が主催する事業に協賛する。  ４　放送局、新聞社等のマスコミの経験者の参加による自治協だよりの編集や広報体制を検討する。  ５　「ホームページ・フェイスブック」等のＳＮＳへの発信を、長野県立大学生等との連携を検討し強化する。  ６　ボランティア推進委員会と連携し、ＳＮＳを利用したボランティアを募集する。 |

**（２）―２　環境美化委員会**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名  **ごみ集積所維持管理及び分別搬出ルール啓蒙** | |
| 事業の目的 | ごみ回収作業に関する「環境のてびき（長野市発行）に従ってごみの搬出、集積、回収作業が適切に行われることを目的とする。 |
| 事業の内容 | １　各町ごみ集積所のコンテナ・ネット類の整備  ２　ごみ分別・搬出ルールの注意事項の啓蒙、立会指導  ３　ごみ集積場所ポスター・看板の作成検討 |
| 事業名  **春・秋大掃除月間の計画推進及びごみゼロ日一斉清掃** | |
| 事業の目的 | 各地区の実情に合わせた清掃計画を実施し、地域にごみの無い美しい環境を作る事を目的とする。 |
| 事業の内容 | １　春（5/1～5/31）・秋（10/1～10/31）の大掃除月間と月間中の一斉ごみゼロ日の計画・実施促進  ２　地区・自宅近隣のごみ拾い等の啓蒙（回覧）  ３　ごみ分別の強化月間の自主巡回指導（１０月不燃ごみの日）  対象は委員長・副委員長地区 |
| 事業名  **害獣及び害鳥の防護支援** | |
| 事業の目的 | 害獣、害鳥の被害を防ぐため、支援体制を整える。 |
| 事業の内容 | １　カラスよけネットの供給と手配 |
| 事業名  **環境美化部員研修会** | |
| 事業の目的 | 環境活動に関する委員の知識・技術・実践について理解する。 |
| 事業の内容 | １　日頃分別収集されるごみの終末処理の現状を確認し日頃の収集分別活動に生かす。  ２　委員会において意見交換を行い、日頃の諸問題の解決策を探り、対応する。  ３　次年度の計画等を検討する。 |

**（２）―３　防災委員会**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名  **防災対策の強化** | |
| 事業の目的 | 災害に強い三輪地区を目指し防災対策を強化する。 |
| 事業の内容 | 各区バラバラに取り組んでいる防災対策を把握し、自治協全体での取り組みを推進する。  １　各区での取り組み状況の把握  ２　防災計画、マニュアルの策定・継続的な検証  ３　自主防災組織連絡会との連携（情報交換、課題等の協議、防災研修会の開催等）  ４　広域的な防災訓練の実施  ５　避難所、備蓄品等の点検・整備  ６　初年度は上記事業ができるよう、情報収集・体制検討から始める。 |

**（２）―４　ボランティア推進委員会**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名  **ボランティアが参加しやすい仕組みづくり** | |
| 事業の目的 | 役員だけでなく、三輪自治協の事業にボランティアが参加できるようにする。 |
| 事業の内容 | ボランティアに「できる時間に、できる人が、できること」を協力して頂く、体制を整備する。  　１　ボランティア受け入れ体制の検討  ２　具体的事業にボランティアを募集する試行実施  ３　部活動の地域移行についての情報収集、自治協へのニーズ調査  ４　初年度は上記事業ができるよう、情報収集・体制検討から始める。 |

**（３）公民館部会**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名  **人権教育・男女共同参画推進事業** | |
| 事業の目的 | １　様々な人権問題に関心を持って互いの人権を尊重する意識を培いながら、すべての人の人権が尊重される社会を目指す。  ２　女性が積極的に活躍できる機会を拡充する。 |
| 事業の内容 | １　人権教育・男女共同参画研修会・講演会の実施  ・各区推進委員全体会を開催し、情報交換をする。  ①男女共同参画研修会・講演会  　　　　　６月頃　　　（演題・講師は未定）  ②人権教育啓発住民集会の開催  　　　　　１０月２８日（土）　（演題・講師は未定）  ２　各区が開催する人権教育・男女共同参画研修会への参加と支援  ３　学社連携による人権教育の啓発活動の推進 |
| 事業名  **まちづくりのつどい** | |
| 事業の目的 | 地区内各校の特色ある教育活動や地域活動の発表により、児童によって結ばれる学校と家庭・地域の相互の連携をはかり、子どもの健全育成と住みやすいまちづくりを目指す。 |
| 事業の内容 | １　地域の教育力の向上や地区住民の学校教育に対する関心を一層高めていくために、各学校の特色ある教育活動について発表してもらう。  ２　区民が必要として参加したくなるような魅力ある集会にしていく。  ３　開催日時 １１月２５日（土） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業名  **がんばれキッズ　ふるさとふれあい体験活動** | | |
| 事業の目的 | | 三輪地区の子ども達が普段体験できない故郷での実体験を味わい、よりよく成長を遂げていく生活の知恵や人間関係並びにふるさとの自然や文化を大事に受け継ごうという気持ちを育む。 |
| 事業の内容 | | |  |  |  | | --- | --- | --- | | 日　程 | 内　　　容 | 定員（人） | | ６月 １０日（土） | グラスサンドアート | ２０ | | ７月 ２９日（水） | 教えて！面白サイエンス | ２０ | | １０月 ７日（土） | 紙すき体験 | ２０ | | １２月 ２日（土） | クリスマスリースづくり | ２０ | | ２月　 ３日（土） | ステンドグラス | ２０ |   ５回実施。定員は子どもの数。親は別枠 |
| 事業名  **青少年の健全育成に関わる巡回指導及び環境浄化活動** | | |
| 事業の目的 | | 各区の少年育成指導員と連携した地区内巡回指導並びに青少年が育つ環境浄化の呼びかけと啓発に努める。 |
| 事業の内容 | | １　地区内巡回指導   |  |  | | --- | --- | | 日　　程 | 内　　容 | | ５月２８日（日） | 地区内巡回指導 | | ８月１２日（土） | お花市巡回指導 | | ９月２６日（火） | 美和神社例祭巡回指導 | | １１月３日（金）～１１月５日（日） | 定期巡回指導 | | 令和６年３月１日（金）～３月３日（日） | 定期巡回指導 |   　２　中心市街地巡回指導（年１回）  　　　　　令和５年１０月１５日（日）　長野駅方面 |
| 事業名  **青少年健全育成のためのスポーツ大会** | | |
| 事業の目的 | | 子どもたち自ら企画して実践していく中で、自分たちの可能性を見出しながら心身の向上を図り、リーダー性を養い地域とのふれあいを深める。 |
| 事業の内容 | | １　子ども会町別育成会連絡会で実施する二つの事業である「ボッチャ大会」「健康まつり」と、各町で実施する夏休みラジオ体操等を通じて、子どもたちの自主的、主体的な取り組みができるように支援・指導する。  ２　子どもたちの活動の過程を大切にし、親の手助けをできるだけ少なくして、見つめ見守る姿勢を大事にしていく。   1. 一千万人ラジオ体操会　７月３０日（日） 2. 子ども健康まつり　　　　　９月 ３日（日）  * コロナ感染の状況により、日程・内容を変更して開催する場合もあります。 |
| 事業名  **教養文化講座** | | |
| 事業の目的 | | 地区住民が、地域の歴史や文化に学びながら見聞を広げ、地域への愛着を深める。 |
| 事業の内容 | | １　地区住民の興味・関心の高い題材を検討する。  ２　地域に対する再認識を呼ぶ内容を選択する。  ３　三輪地区のガイドマップを活用して、地区内の名所・旧跡や隠れた見どころなどを散策する「まち歩き」を開催する。　（健康・福祉部会と共催予定） |
| 事業名  **親善スポーツ大会等** | | |
| 事業の目的 | | スポーツ活動を通してスポーツの面白みを体感するとともに、地区住民の絆を深め、各町同士の親睦・交流を深める。 |
| 事業の内容 | | １　スマイルボウリング大会またはボッチャ大会　　　６月２５日（日）  ・スポーツ推進委員と協力しながら実施する。  ・開催１ケ月前に実行委員会を開催して、要項等について検討し、確認する。  ※親善スポーツ大会の本年度の幹事公民館は下宇木公民館  ※コロナ感染の状況により、日程・内容を変更して開催する場合もあります。  ２　わくわくスポーツみわ  ①ラジオ体操会　　　　　　　５月２８日（日）  ②体力測定会＆健康体操　　　未定  ・三輪体育館を会場に、スポーツ推進委員の指導によるスポーツ交流を行う。 |
| 事業名  **成人式** | | |
| 事業の目的 | 新成人の門出を地域全体で祝う。 | |
| 事業の内容 | 市内９地区合同で組織する実行委員会で、成人式を企画、開催する。 | |
| 事業名  **夏休みこども学校** | | |
| 事業の目的 | 三輪地域の人財や資源を活用し、子どもたちの夏休み期間中の主体的な学びを地域で支える。 | |
| 事業の内容 | 児童が興味・関心をもって楽しく遊びながら学ぶことができるようなプログラムを地域内の大学の学生や高等学校の生徒の協力を得ながら実施する。 | |
| 事業名  **地域と学校の連携** | | |
| 事業の目的 | 「文教地区三輪」として、地区内にある学校との連携や交流により地域活性化を図る。 | |
| 事業の内容 | １　地域で開催する事業への学生や教授等の参加・協力の依頼  ２　学校が行う伝統文化継承や地域活性化に資する活動への支援  ３　地域と学校が連携して行うまちづくり事業等の企画・実施  ・「地域と学校の連携懇話会」　等  ４　上記の事業内容について、関係者で組織する「地域と学校の連携プロジェクト」で事業の活性化等をさらに図るための検討を進める。 | |

**(３）―１　区民広場委員会**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名  **三輪地区ふれあいコンサート** | |
| 事業の目的 | 三輪地区内の音楽文化をみんなでふれあい楽しむ。 |
| 事業の内容 | 期日：7月2日（日）　9：00～12：00（予定）  場所：三輪小学校体育館  下記のことを検討し、質の高い音楽を楽しめる内容とする。  １　三輪地区にゆかりのある団体（園児から大人まで）のバラエティ豊かな音楽会を楽しむ。  ２　８から９団体目途に出演交渉を早めに行い、バランスを考え新規団体の発掘も図る。  ３　コロナの状況を考慮し大規模開催が困難な場合は、三輪公民館に場所を変更し規模  縮小して開催する。 |
| 事業名  **ひまわり広場** | |
| 事業の目的 | 三輪地区住民の一体感を築くため、住民が明るく楽しい交流ができる場を設定し、世代間の交流も大切にしながら、区民みんなが心を寄せ合って活動できる事業とする。 |
| 事業の内容 | 期日：10月15日（日）10：00～13：00（予定）  場所：三輪公民館、三輪支所及び周辺駐車場  １　自治協の総力を挙げての開催とし、協力団体を含めた実行委員会を組織して企画運営にあたり、野菜広場・飲食等の出店広場・演芸広場・キッズ広場・健康広場、バザー等を設定し、地域住民の交流の場を作り出す。  ２　三輪通り商店会、長野県立大学、長野女子高校、小田切自治協等と引き続き連携を図る。  ３　コロナの状況を考慮し上記開催が困難な場合は、規模を縮小し安全な内容を検討する。 |

**（４）健康・福祉部会**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業名  **健康づくり活動支援事業** | | |
| 事業の目的 | | 生涯を健康でいきいきと過ごせる「健康寿命」の延伸を目指して、誰でも参加できる専門講師による講座を実施し、日々の生活を充実した潤いあるものにするとともに、仲間づくりにつながる支援を目指す。 |
| 事業の内容 | | １　いきいき講座  １）フレイル（虚弱）予防　 １回  ２）コンサート　　　　　　　　　　　1回  ３）認知症講座 1回  ４）人生会議講座 １回  ５)フラワーアレンジメント　　　　１回  ２　料理講習会　　　　　　 　　　　4回 |
| 事業名  **地域活動支援事業** | | |
| 事業の目的 | | 地域サロンなどを通じて、地域での居場所づくり、健康づくりへの支援を目指す。 |
| 事業の内容 | | １　地域お茶のみサロンへの参加及び支援  ・コロナで中止しなければならない時、三密を避けて出来る方法を考える。  ・お茶のみサロン交流会を2月に開催する。  ２　地域はつらつ運動支援  ・地域が主体となって行う健康づくり活動の支援  　　　　　　　　　（フレイル予防講座への参加） |
| 事業名  **福祉活動支援事業** | | |
| 事業の目的 | | 住民の誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる、お互いに顔が見える地域づくりを目指し、地域でひとりぼっちにならない、させないための支援を目指す。 |
| 事業の内容 | | １　第9回三輪地区住民福祉大会～三輪のつどい～　　11月２８日（火）  ・表彰　　催し：法話とコンサート  ２　ぐるっと区境まち歩き  　・ガイドマップを活用したまち歩き  ３　みわ男塾（男性地域デビュー促進） |
| 事業名  **研修事業** | | |
| 事業の目的 | | 健康福祉部員・福祉推進員として大会や研修等へ積極的に参加し、資質向上を図る。習得した情報を地域に広げると共に地域の担い手の掘り起こしを図る。 |
| 事業の内容 | | １　部員・福祉推進員研修  ２　長野市地域福祉推進セミナーへの参加  ３　長野県保健補導員等研究大会参加  ４　吉田保健センターによる健康づくり講演会への参加  ５　吉田保健センター三輪地区ブロック会　年2回  ６　長野県・市社会福祉協議会、中部地域包括支援センター等が主催するボランティア養成  講座に参加  ７　福祉担当者部会、関係者情報交換会（市社協主催） |
| 事業名  **福祉支援ボランティア事業** | | |
| 事業の目的 | | 福祉支援ボランティア登録団体として多世代の住民が安心して暮らせるよう活動を実施 |
| 事業の内容 | | 登録   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 団体名 | 目的 | 活動内容 | | 子どもと親の  育ち合いサロン | 子育て世代が孤立しない支援  ・子育て中の親子が安心して過ごせ、親子で交流できる場所の提供  ・核家族の中、転勤族の多い地域性の中で子育ての悩みを言い合える場、仲間づくりの場、子育ての先輩・後輩として親同士の交流の場として事業を実施 | ①月1回「子どもと親の育ち合いサロン」開催  　原則第1木曜日  ②スタッフの研修 | | オレンジカフェ  ひまわり | 認知症カフェの運営  ・認知症があってもなくても共につながる地域づくり  ・当事者同士、また当事者と話し合える場所づくりで学び理解、備えをする  ・認知症の人とその家族、地域住民の誰でもが気軽に立ち寄れる場所、同じ思いや悩みを持つ家族の人達と話ができる場所の提供 | ①月1回オレンジカフェを開設  原則第３木曜日  ②「介護者のつどい」と当事者同士の交流  ③スタッフの研修 | | 縁側　ゆい | 地域の縁側活動  ・誰もが集える居場所の提供と地域づくり  ・交流の場 | ①縁側ゆいの運営  ・月・水・金に開所  9:30～11:30  ・住民誰でも参加可能 | | 三輪お助け隊 | 地域の困りごとに対応  ・包丁研ぎ | 要請により随時 |  |  |  |  | | --- | --- | --- | | 三輪小お預かり | 子育て支援  ・参観日、懇談会等の時間に低学年児童のお預かり・見守り | 要請により随時 | | 訪問ボランティア | マジック、ギター、歌 他 | 要請により随時 | |  |  |  | |
| **（４）―１　地域包括支援事業** | | |
| 事業の目的 | | 高齢者等が住み慣れた地域で安心して健康でいきいきと暮らせるよう、地域内サポート体制を整える。 |
| 事業の内容 | | １　介護が必要にならないための介護予防の充実・支援  ２　高齢者の社会参加や社会的役割を担うことで心身の充実や生きがいを感じられる活動の推進とし、町公民館を居場所として様々なサロン活動の充実・支援  ３　地域における困りごとの解決を基本とした生活支援体制の整備とネットワークの形成。そのため、地域福祉懇談会等によるニーズの把握、日頃のご近所関係、地域の力などを活用した助け合い、支え合う仕組みなどの推進 |
| **（４）－２　地域たすけあい事業** | | |
| 事業の目的 | 高齢化・核家族化が進み、昔ながらの地域での支え合いの機能が低下していく一方で、  日常生活の関りの中、互いに助け合うという気運も高まっている。  地域住民の協力を得ながら、家事援助や福祉移送事業により、支え・助け合いの地域づくりを目指す。 | |
| 事業の内容 | １　有償助け合い活動（家事援助・福祉移送）の実施  ２　協力会員・利用会員・賛助会員の募集  ３ 「たすけあい事業」の啓発  ４　協力会員の研修  ５　福祉自動車の更新及び維持・管理 | |

**（５）安全・安心部会**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名  **交通安全推進事業** | |
| 事業の目的 | 三輪地区老人クラブ連合会、長野交通安全協会三輪支部等と連携して地域の交通安全を推進する。 |
| 事業の内容 | １　交通安全啓発活動  ２　桃太郎旗と横断旗の管理  ３　カーブミラーの点検  ４　「子どもの安全見守りパトロール」活動に積極的に参加  ５　地域の交通安全に積極的に参加  ６　子どもと親、高齢者の交通安全研修会を関係団体と連携して実施  ７　自転車事故防止のための啓発活動  　　県立大学および近隣の学校の自転車通学の監視実態調査にもとづき啓発活動を行う。  ８　道路標識、信号の点検  ９．交通安全体験会を各区で実施 |
| 事業名  **防犯事業** | |
| 事業の目的 | 防犯指導員を中心に地域内の防犯活動を推進していく。 |
| 事業の内容 | １　長水防犯協会及び長野中央警察署による春・夏の地域安全運動と年末特別警戒運動期間中のパトロール実施、立て看板掲示を行う。  ２　地区内の防犯活動、キャンペーン、防犯相談、アドバイスに努める。  ３「子どもの安全見守りパトロール」活動に積極的に参加する。  ４　防犯研修会（兼防犯指導員研修）を開催する。  ５　不審者対策として注意喚起の看板の設置を継続する。  ６　特殊詐欺被害防止の啓蒙活動 |
| 事業名  **子どもの安全見守りパトロール** | |
| 事業の目的 | 小学生の通学時の見守りと挨拶運動を学校やＰＴＡと連携を取り、継続的に実施していく。 |
| 事業の内容 | １　各区で通学路を中心とした下校時の安全見守りパトロールを毎月一定日に実施す  る。(各区で日程、方法の検討)  ２　関係団体のほか、広く区民の協力を得て、ボランティア等段階的に拡大し、長期  継続を目指して推進していく。 |